

令和3年 第3回五ヶ瀬町議会定例会 一般質問

期日：令和3年9月7日（火）午前10時～

場所：議会議事堂

通告 番号	議員名	・質問事項（執行部答弁書 要/不要）
1	秋本 良一	・五ヶ瀬町の将来像、九州圏域災害後方支援基地としての計画について（不要）
2	佐藤 成志	・第6次五ヶ瀬町総合計画の進め方について（要）
3	綾 健一	・林道岩神大石線の側溝の整備について（要） ・岩神から入るうのこの滝進入路の町道編入について（要）
4	小笠原 将太郎	・高齢者に対する移動手段の確保について（要） ・若者の定住につながる住宅整備について（要） ・公園の整備について（要）
5	甲斐 義則	・防災貯水ダム建設について（要） ・内水面漁協振興への取り組みについて（要）

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
1	秋本 良一 (議席番号：8)	五ヶ瀬町の将来像、九州圏域災害後方支援基地としての計画について	<p>五ヶ瀬町は、九州のほぼ中央に位置する。九州中央自動車道の事業化も決定され、既に区間開通や関係者説明、調査も始まり、五ヶ瀬町も高速自動車道の話題が浮上し、1年でも早い開通が望まれる。</p> <p>その来るべき時期を見据えて様々な角度から見た持続可能な町づくりが重要である。</p> <p>昨今、台風あるいは線状降水帯による豪雨災害や100～150年間隔で発生すると言われている太平洋南海トラフ巨大地震発生の切迫が高まっていると聞く。</p> <p>五ヶ瀬町の立地条件は、九州圏域東西南北、所要時間は概ね2時間以内で目的地に到着できる位置と考える。</p> <p>あってはならないが、有事の際の食料や生活用品の備蓄、また被災者受け入れ基地として調査計画を実施し町から県、国へ要望して、九州圏域災害後方支援基地として五ヶ瀬町から各方面へ支援できる施策はないか伺いたい。</p>	町長

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
2	佐藤 成志 (議席番号:6)	第6次五ヶ瀬町総合計画の進め方について	<p>この度第6次五ヶ瀬町総合計画が示され、4月よりスタートした。第5次五ヶ瀬町総合計画施策進捗評価を踏まえての計画がなされたものと思う。</p> <p>「本町が目指すまちづくりの方向性を示した計画」とあるが、第5次五ヶ瀬町総合計画ではほとんどが60%~80%の進捗である。</p> <p>そのことを踏まえ、基本目標のうち、「安心して快適な暮らしを維持する」及び「魅力、活力を生み出す」について、今後どの様に進めて行くのか伺う。</p>	町長

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
4	小笠原 将太郎 (議席番号:2)	<p>高齢者に対する移動手段の確保について</p> <p>若者の定住につながる住宅整備について</p> <p>公園の整備について</p>	<p>交通弱者である高齢者に対する移動手段の確保に対する町の考えを伺いたい。 (生活必需品の購入や病院への移動手段)</p> <p>住宅の整備の現状の説明をしてほしい。 空き家対策を進めるより、より現実的な宅地の造成をなぜ行わないのか。 また、少子高齢化は間違いなく進んでいるが、若者が定住できる住宅が少ないと考える。住宅整備について今後の対応を伺いたい。</p> <p>五ヶ瀬町内に子どもやその親・家族が憩える公園が少ないのか、理由を伺いたい。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

